

文化財保護

食で文化を身近に！ 文化財の扱いは丁寧に！



山内 陽子 議員

答

食文化の可能性を前向きに考え、文化財は計画的に整理を進める



多くの文化財が保管されている旧今津東体育館

問

旧今津東体育館解体予定。そこに保管されている文化財、民具2千500点、出土品類コンテナ3千300個がある。移転先は？

答 教育総務部長

文化財の価値と活用の可能性を適正に判断した上で、安曇川町の南古賀文書庫等に移転する予定です。

問

旧今津東体育館の解体の予定はいつか。

答 総務部長

ただ今実施設計を進めており、解体の予定は来年度です。

問

現在、約8千点もの文化財が分散して保管されている。一か所から手をつけると全体として評価ができない。短期間に適正に判断が可能なのか疑問。収蔵庫そのものの集約化を図り、県や大学や市民などに協力を求め、丁寧に進めるべきではないか。

答 教育総務部長

文化財は台帳管理をしており、計画的に整理していきます。資料館の集約化については、今後、公共施設の総合管理計画を進める中で空き施設が生じるため、それらの活用を考えています。

なお、移転作業は教育委員会で行います。ご提案の県や大学や市民に協力していただく手法については、今後、検討していきます。

問



大切に守り、受け継ごう！

問

市内2か所の小学校が廃校で、広さも確保できる。検討の対象にしないのか。

答 教育総務部長

現在、跡地利用検討委員会において議論しており、文化財施設に活用してほしいという意見も出ています。

問

高島市文化財保護条例例では、「文化財の定義」に生活の推移を理解するものとして「衣食住」をあげている。滋賀県が「食文化」を文化財に選択しているように、市民に身近な「食」を文化財として取り上げるべきではないか。

答 教育総務部長

高島市の「食」を文化財と位置づけるには議論が必要ですが、認定ができれば市の魅力の発信等になることも考えられるため、あらゆる可能性を研究し、前向きに考えていきたいと思えます。

その他の質問

●高島市デジタル博物館の活性化

●ひとり親家庭の生活実態の把握